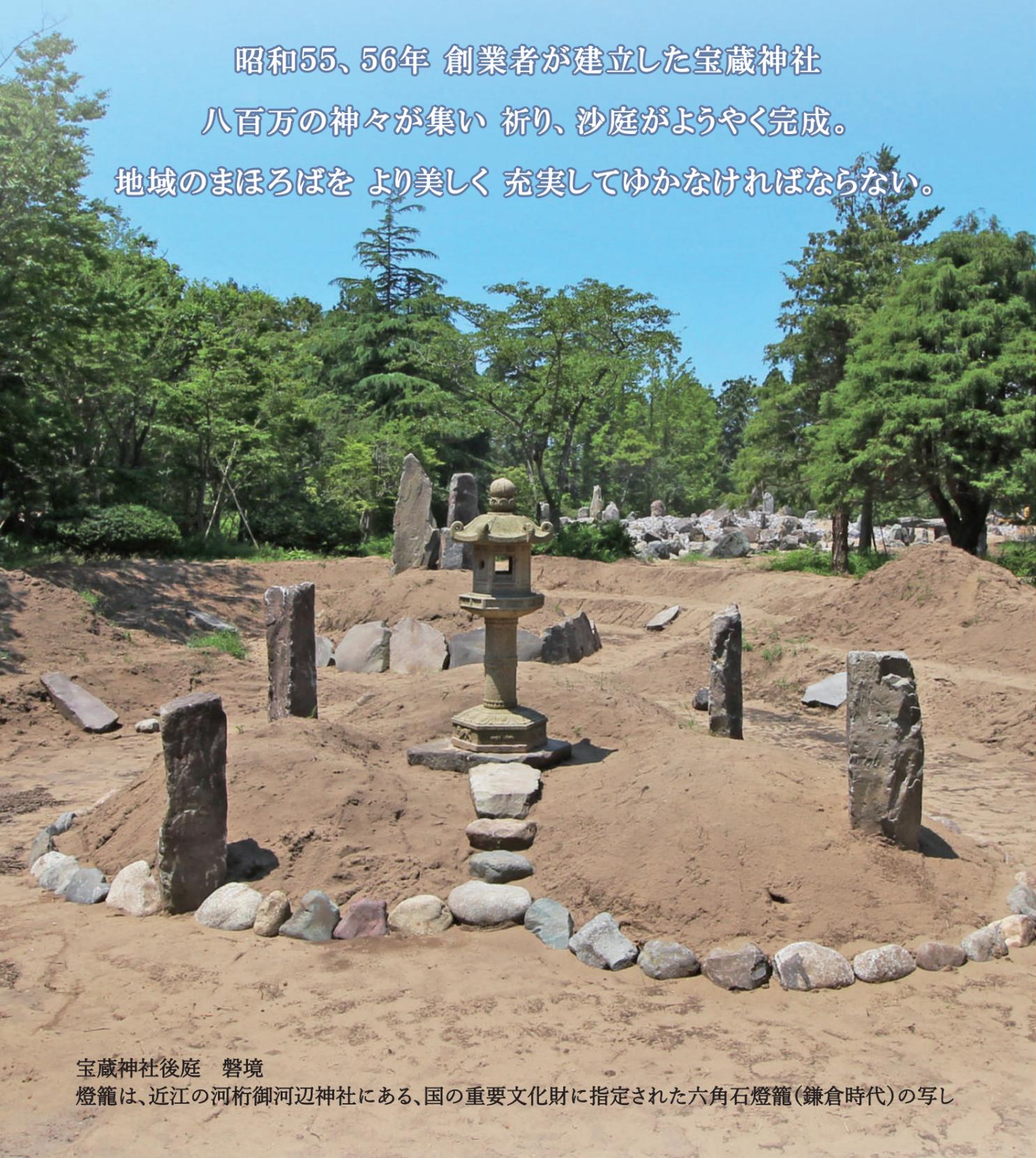


Greenthumb

昭和55、56年 創業者が建立した宝蔵神社

八百万の神々が集い 祈り、沙庭がようやく完成。

地域のまほろばを より美しく 充実してゆかなければならない。



宝蔵神社後庭 磐境

燈籠は、近江の河桁御河辺神社にある、国の重要文化財に指定された六角石燈籠(鎌倉時代)の写し

Greenthumb

2025年 22号

Greenthumb 22号 2025年1月1日発行
〒010-0951 秋田市山王五丁目13番3号

発行●むつみ造園土木株式会社 代表取締役

TEL 018-863-2011 FAX 018-864-1316

URL <https://www.mutsumi-l.co.jp>

URL <https://www.mutsumi-l.co.jp>

杉村文夫 石組の庭

2020年、むつみ造園土木(株) 佐々木吉和会長を筆頭に「庭園プロジェクトチーム」が結成された。「緑産業の未来に向けて」をテーマに、果樹園と庭園を核とし未来の新事業・緑産業のテーマパークを創ろうということで始動。巨石の数はどれだけあるだろうか? 圧倒される程の数とその配置された石組の世界。杉村は、桃山時代の豪快で華麗な雰囲気表現したのだと話す。



雨の日も頑張ってくれたね、ありがとう
左から 米澤谷進司さん、湊繁さん、三浦祐介さん

■NPO法人秋田グリーンサム倶楽部
〒010-0201 秋田県湯上市天王細谷長根127
TEL 018-878-3986 FAX 018-878-2950
URL <http://akita-gt.com>

むつみ造園
ホームページ



<https://mutsumi-l.co.jp/>

むつみ造園
Facebook



<https://x.gd/cp4dJ>

秋田グリーンサムの柱
ホームページ



<https://akita-gt.com/>

秋田グリーンサムの柱
Facebook



<https://x.gd/lhxWo>

秋田グリーンサムの柱
X



https://x.com/greenthumb_mori

第28回

パークゴルフ東北交流大会 in 湯上

9/28(土)・29(日)
(交流会) (競技)



女子表彰



男子表彰



秋田のプレイヤーの皆さん



秋田スタッフの皆さんも、お疲れ様でした！

スコア順位が貼り出されると、皆さん早速スマホで撮影！

最終グループのプレーを見守ります

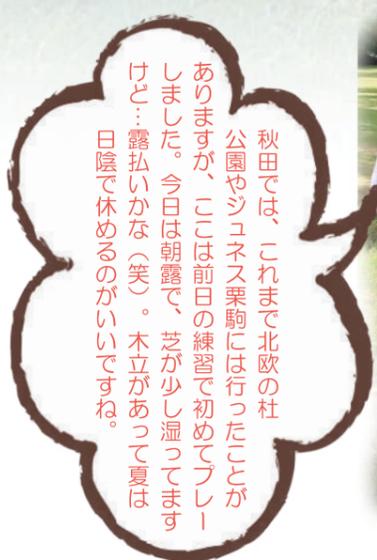
参加者に配られたお弁当、栄養満点です！

受付も笑顔で！

29日朝の開始式に集まるプレイヤーの皆さん



第29回(2025年)の開催地は山形県川西町です



秋田では、これまで北欧の社公園やジュネス栗駒には行ったことがありますが、ここは前日の練習で初めてプレイしました。今日は朝露で、芝が少し湿ってますけど、露払いかな(笑)。木立があって夏は日陰で休めるのがいいですね。



盛岡より参加のお三方より、コメントいただきました！

第28回パークゴルフ東北交流大会 in 湯上
が、「秋田グリーンサムの杜。パークゴルフ場」
において盛大に開催されました。東北交流大
会は、愛好者との交流とパークゴルフの一層
の普及・振興を目指し東北各県を持ち回りに
て開催しておりますが、湯上市を会場にして
の東北大会は初の開催でした。
29日はお天気に恵まれ、参加選手の皆さん
は、日頃の練習の成果を存分に発揮し、多く
の方々の交流や親睦を深め、楽しくプレイ
しました。
パークゴルフは、1983年に北海道幕別
町の公園からスタートし、今年で41周年を迎
えております。年齢や経験を問わず楽しむこ
とができるスポーツとして、これまでたくさ
んのプレイヤーが楽しみ、これからもその輪
は広がっていくことでしょう。
秋田グリーンサムの杜では、メイン施設と
して現在36ホールのパークゴルフ場がありま
す。来年は18ホールを増設し、計54ホールの
コースを計画しています。
また、高齢者や初心者でも安心して練習で
きる専用のコースも予定しています。まだま
だ満足できる芝生コンディションではありま
せんが、弊社では美しく丈夫な芝生の育成に、
鋭意取り組んでおります。今後もパークゴル
フを盛り上げていくため、安定的なサービ
ス向上を目指して参ります。



ブラウブリッツ秋田
クラブハウス
新社屋完成



秋田グリーンサムの社敷地内に、サッカー「ブラウブリッツ秋田」の練習拠点としてクラブハウスが整備され、9月25日竣工式が行われました。東湖八坂神社の神主・鎌田様が齋主となり神事が行われ、約70名の方が参加しました。テープカットでは鈴木雄大湯上市長はじめ、秋田県議・湯上市議、一般社団法人秋田県サッカー協会 安井誠悦会長、並びに新社屋を施工した、むつみ建設株式会社社長・佐々木徹と弊社社長・佐々木吉和も出席しました。

会員制のトレーニングジムや夜間のみ営業の子ども食堂、コインランドリーなど、施設の一部は一般の人も利用可能だそう。予約などの詳細は、公式ホームページでご確認ください(※上記QRコードは施設公式ページです)。今後はクラブのファンやサポーターだけでなく、地域の人たちの交流の場としても活用されることを期待しています。



▲ 竣工式テープカットの様子

秋田グリーンサムの社
むつみガーデン & 秋田のグリーンサム
6/14 グランドオープン!



沿道緑化「フィロス秋田」の地域貢献活動の中から始まった
笑顔を咲かせる

国花プラン

NPO法人秋田グリーンサム倶楽部が取り組んできた沿道緑化 清掃活動などの地域貢献活動から平和を願い 地域じゅうに笑顔を咲かせるプロジェクト「国花プラン」の構想が生まれ膨らみました。様々な国の花を植え どこにいても花を愛でることのできる安らぎのガーデンを ここ秋田から咲き広げて参ります。

テーマ庭園では、世界平和祈念を念頭にガーデンプロジェクトもすすめており、それぞれの地域の文化や風景、歴史等の特徴を、植物で表現します。その他サークルガーデン、茶室、ゲストハウスをはじめ、デッキ空間等整備中。

Wine Terrace



Winery



6/14・15は

グランド
オープン
イベント
を予定!

詳細は、別途
ご案内いたします。

むつみワイナリーでは、自社の畑で収穫したぶどうをメインに使い、ワインを醸造しています。ワインは園内にあるワインテラスでお試しいただけます。

秋田県湯上市
むつみガーデン
連絡先：018-878-2011
(むつみ造園土木湯瀬上本店)

今年6月は、弊社が30年取り組んで参りました公益事業、「秋田グリーンサムの社」と「むつみガーデン」のグランドオープンとなります。従来からの事業の枠にとらわれることなく、お客様はもとより地域の発展に貢献すべく、共に住んで良かったと感じられる美しく楽しい空間づくりを目指して整備を進めて参りました。この事業は地域の人々や多くのお客様、ステークホルダーの方々との熱い信頼と協力体制により完成に近づいております。



「希望への窓」/彫刻家 笠原幸生
グリーンサムの社完成記念モニュメント。三面によるメビウスの曲線立体を、自身の造形感覚を研ぎ澄まし、ギリギリの、何ものかが漂って来るところまで追いつめて造形し、それを見る人の心の中に騒めきのような、ある種の驚きに似た感動を起こさせることが出来ればと思い制作している。作品中央の捻じれた局面による空洞の向こう側に希望を見出したいという思いからタイトルを「希望への窓」とする。

Camp Area



秋田グリーンサムの社のキャンプエリアは、小さなお子様のいるファミリーやソロキャンパー、キャンプ初心者にも安心して楽しめるエリアです。

宇宙で活躍する
月からの使者

グリーンサムの社
ガーデンものがたり



竹取物語をモチーフに、月からやってきたうさぎのキャラクターたちがグリーンサムの社に降り立ち、救助隊チームとなり、新しい日常づくりのために地球の人々と共に活動する・・・という設定で、ポスターを昼・夕・夜の3バージョン作成し、グリーンサムの社づくりのイメージを膨らませています。

私たちがめざす「グリーンラビット」は持続可能な美しい環境づくりです。強く跳ねる足は跳躍と勇氣。色の変わる保護色は変化に対する対応力。自然環境に育まれる赤い目は邁進する情熱。大きな耳はみんなの声を聴く優しさや情報力。急速に変わっていく社会の中で、多様な価値観に応えます。

多目的芝生広場



造園会社ならではの美しく整い手入れされた芝生でパークゴルフを楽しめます。広々とした緑のロケーションは、スポーツアクティビティだけでなく、さまざまなスタイルの創造的な遊びの場として、それぞれが思い描くグリーンの上での過ごし方を提案します。

秋田県湯上市
秋田グリーンサムの社
連絡先：018-878-3986
(パークゴルフ場受付)



緑綬褒状受章記念「感謝の集い」



4月27日、お天気に恵まれた「秋田グリーンサムの杜」で、秋田グリーンサム倶楽部緑綬褒状受章記念「感謝の集い」を開催しました。早めにご来場いただいたお客さまには、パークゴルフ体験で楽しんでいただいたり、お茶席を設け、ひととき寛いでいただきました。祝賀会は歓迎の挨拶、造園家・涌井史郎先生による記念公演、来賓挨拶、乾杯、山内達哉様一家によるコンサート、秋田万歳等の余興もあり、盛り沢山の内容となりました。佐々木吉和理事長の謝辞で締めくくると、会場は桜吹雪が舞う美しい舞台となり、まるで木々にもお祝いされているような、終始和やかな会となりました。さわやかな春を感じる一日でした。

▲長く会を支えてくださった方々に心からの感謝

▲涌井史郎先生と佐々木吉和理事長

山内達哉さん、香さん・魅音さんによる、ミニファミリーコンサートも、会に花を添えてくださいました▶



3月17日秋田市拠点センターアルヴェで開催の「市民活動フェスタ2024」に、NPO法人秋田グリーンサム倶楽部として初参加しました。会場では、秋田市内32団体のNPOが参加、ダンスやマジックなど来場者の目を引くパフォーマンスでたいへん盛り上がりしました。

グリーンサム倶楽部のPRブースでは、ポスターや冊子等で主に「秋田グリーンサムの杜・ガーデン」を拠点に行われている現在の活動紹介をし、ステージでは「フィロス秋田」から始まったNPO創設の経緯を、動画をメインで紹介させていただきました。他団体の発表から学ぶことも多く、今後はステージでの魅せ方含め、秋田グリーンサム倶楽部らしいPRが可能になるよう取り組んでいきたいと思えます。



弊社「むつみガーデン」にある宝蔵神社は、創業者・佐々木吉之助によって建立され、地域の氏神様となっております。「出戸新町宝蔵神社例大祭」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から2年間見送りとなっておりましたが、今年7月6日に宵宮祭、7日に本宮祭を斎行いたしました。雨ではありましたが、弊社ホールで、子どもたちによる元気な新町ばやしと御神輿の奉納が行われました。

ナウイルスの感染拡大防止の観点から2年間見送りとなっておりましたが、今年7月6日に宵宮祭、7日に本宮祭を斎行いたしました。雨ではありましたが、弊社ホールで、子どもたちによる元気な新町ばやしと御神輿の奉納が行われました。

フェスタ初参加

市民活動フェスタ初参加



神社祭典

出戸新町宝蔵神社例大祭



清掃活動

はじまりは、フィロス秋田から 夕日の松原クリーンアップ



秋田市から潟上市にわたる海岸松林「夕日の松原」は、日本海からの強風と荒波から私達の暮らしを守っています。近年は、松くい虫被害やゴミの不法投棄等により以前にも増して対策が必要となっており、森林の保全・地域の環境美化を目的に、ボランティアによる清掃活動が続いてきました。

NPO法人秋田グリーンサム倶楽部の活動はこの「フィロス秋田」から始まっており、常に基本に立ち返る取り組みとして参加しています。10月26日、美しい朝焼けのなか潟上市天王浜口から秋田市飯島古道下川端まで、団体・企業からの参加者を含め、約500人が清掃活動に精を出しました。「掃除に始まり掃除に終わる」造園会社として、これからも地域住民の皆様と手を携え、地域と環境を考える取り組みをして参ります。

あなたのまちで気軽にワインを

むつみワイナリー
のはらワイン

since 2022



グリーンサムガーデン（むつみ造園土木㈱ 潟上本店）「ワインテラス」が誕生しました。ぶどうの育成から醸造まで造園屋プロデュースの完全オリジナルワインを、この機会にぜひ飲んでみませんか！



むつみ造園土木潟上本店の美しい芝庭に囲まれたワインテラス。弊社ソムリエプロデュースの料理とともにワインをお楽しみいただけます。



（要予約・貸切）
団体でのご利用も可能。
※ BBQスタイルで30名程度。冬季は20名程度迄可能です。

全ワイン、シードル
各¥500
グラス1杯(約90ml)
※おつまみは別料金

11:00 ~ 16:00

むつみワイナリーのはらワイン
秋田県潟上市天王 海沿いのワイナリーです



暖風が吹き抜ける、移住の大地。植物を大原にしている造園師が、大地を耕し、苗を植え、湧き出る地下水と愛情を注ぎ、ぶどうを育てた。

むつみワイナリーのはらワイン シャルドネ

産地：秋田県潟上市天王
タイプ：辛口白
生産年：2022
収穫：同年10/7
A.L.C：10.5%
醸造：桶熟あり、11日、小樽で熟成
収穫から1か月ほど予冷後で造る
発酵期間：2022/11/8~2023/7/1
果汁糖度：17

酒いも色調のゴールド。シェリーのよな甘い身肉が、味わいは酸味もやめめかゆい。いぶきがここの造園師と相性がいい。【イベント】花言葉：静かな思い、愛。日本のスタンダードな造園師の造園師。

弊社の **シャルドネ** は、ソムリエ・田崎真也氏から「ユニークな味わいで、「いぶりがっこ」との相性がいい。」と、お墨付きをいただきました！

むつみガーデン ワインテラス

TEL 018-878-2011 3日前迄お問い合わせのうえ、ご予約ください。

隣接するワイナリーでワインも買えます！

Cellar Door



むつみワイナリー
インスタグラム

(ワイナリー担当/安東)

身近な自然【公園】の新しい利用方法を提言
造園のエキスパートと花のプロ集団とのコラボ

2024 Green & Flower Fes in AKITA



なかなか体験する機会がないとあって子どもたちに特に人気の高所作業車両体験！



落ち葉プールは、子どもたちに大人気。いつまでも豊かな心を失いたくないものですね・・・！



セグウェイ体験。クルーズ船で秋田に寄られたお客様もいらっしゃいました。



造園技術体験。日本文化を支える技術を五感で体験し、新鮮に感じられたのではないのでしょうか。



創作コンテスト8点のうちのひとつ、弊社Bチームが制作した作品「いぶき」。

10月26・27日、秋田市の千秋公園二の丸跡で、秋田県造園協会主催の「グリーン&フラワーフェスティバル」が開催されました。このイベントは、「エクステリアコーディネーター」として公共・民間施設の外構景観を主に扱ってきた造園業界と「フラワーコレクター」としてイベントやメモリアルなどと、節目の演出が主体の花弁業界が、生活環境の衣食住に総合的に関わることでできる「ライフスタイルコーディネーター」に変化する取り組みを広く周知するため、2022年より開催されています。

共通テーマ「Peace」に基づき自由な発想で自然素材や人工物などを使って表現された創作コンテスト、セグウェイ乗車体験、作業車両体験（高所作業車）、体験セミナー（多肉植物の寄せ植え、クリスマスリースづくり）、落ち葉プール、造園技術体験、花苗販売やキッチンカーの出店など、各コーナーで来園いただいた方々に楽しんでいただきました。また、この2日間は秋田港にクルーズ船が寄港、思いがけず外国からの客さまもいらっしゃいました。日本文化に興味のある方々に、造園屋ならではの緑を生かした取り組みや、花や緑が持つ新しい魅力を伝えられたことでしよう。

今作は、無添加でじっくり寝かせた白ワイン「アラウエア・シユール・リー」がおすすめです。お食事は「しよつとるとチーズの春巻き」などと特にピッタリです！

むつみワイナリー NEW RELEASE & 出店あれこれ

～心地よい緑の風にさそわれて～

ソムリエが
プロデュースする
コースプラン
大好評です★



ワインテラス
コースプラン

ZiNOBA OPENING FES!! 限定

のほらワイン 2022 のグラスワイン

メルロー
マスカット・ペイリーム樽熟成
マスカット・ペイリーム
キャンベル
BK シードレス

¥300

ソムリエ・田崎真也氏のお墨付きをいただきました!
シャルドネ
いぶりがっこ

¥400

お気軽にお試しください!

NO-KO マーケット限定
テラウェア 2023 ¥400

機手産りんごのシードル
(りんごの種は種) ¥200

8/24

AKITA NO-KO MARKET
in ZiNOBA (にかほ市)

むつみワイナリー 数量限定試飲会

MUTSUMI WINERY
in 佐市フェス

試飲会

2024.5.4 SAT - 5.5 SUN

開店時間 10:00 なくなり次第終了

会場: 佐市フェス
※ マスカット・ペイリーム
白、シャルドネ

QRコード: @MUTSUMIWINERY

5/4

佐市フェス(潟上市)

ワインカクテルを
イメージしたかき氷を
イベントで初めて
出しました♥

むつみワインテラスのかき氷

味は8種類!

白神山水で
つくった氷に
フルーツを
トッピング good!

人気の
ワインカクテル
イメージ
したかき氷

赤ワイン風味ジンジャーおろし ¥300

定番は
コアラ

白神山水みぞれとフルーツ ¥400

濃厚 &
クリーミー

9/15

おがそらキャンプ(男鹿市)

ぬぐだまりふえあ(潟上市)

9/29

県外の方にも
むつみワイナリーを
知っていただけるよう、
PRがんばります!



パークゴルフ東北交流大会in潟上

おかげさまで、カタナシワイン大好評!
インスタやフェイスブックを見て
足を運んでくださるお客様もいらっしゃいました。



11/23-24, 12/14-15

潟梨ヌーヴォー

解禁!



潟梨酒 (カタナシワイン) ラベルについて...

「吟醸酒のようなやわらかい味わい」を、あえて日本酒のようなラベルで表現。カラーリングは、実際に潟上産梨の写真から引用。梨の枠(型)をなくし、「カタナシ」を表現しつつ、潟梨からラベルを通じてボトル内のお酒に広がっていくイメージ。

↓カタナシワイン

潟梨酒
清酒 100% 使用

新潟県産の産地である(潟上産100%)を
醸造したフルーヴワインです。
低アルコールで飲み口は軽やか、
日本酒に似る 透明感のある上質の酒
を表現してあります。
新潟の産地から採れた「梨」を
「カタナシ」をお楽しみください。

むつみワイナリー

シャルドネ & メルロー 苗植え



4月10日、シャルドネとメルローの苗木を植えました。作付面積は8000m²、デラウェア400本、シャルドネ600本、甲州200本。



11月中旬、ブドウ棚の施肥完了。来年のブドウの生育はもちろんのこと、数年後このブドウがどのように成長しているか楽しみです!

潟梨酒 (カタナシワイン) コンセプト

梨からワインを醸造するに至った経緯について...きっかけはとある果樹農家さんとの会話から。「潟上の梨はうめくても他にも負けてねーと思うんだあ。」
「生食で出すには規格外のものも結構あるし、加工することでもっとPRできると思うんだよ。」この日から、梨をつかった商品で全国に「潟上を感じるもの」が創れないか...考えていました。そして今年、偶然にも私たち自身でも梨畑(幸水)を管理させて頂く中で、これは地元の梨を利用する絶好の機会ととらえ、弊社ワイナリーで梨をつかったお酒の醸造にチャレンジすることに。ブドウに比べて糖度がひくい和梨、ワイン(ぶどう)醸造のノウハウはあるものの、果たしてうまくいくものか...製造の過程で有識者からの意見を頂き、改良を加え、現役のソムリエ、料理人の方々から一定の評価を得て、製品化までたどり着きました。
肝心の味については、ワインのイメージより柔らかい味わいの吟醸酒に近く、低アルコールで飲み口も軽やか、透明度の高い仕上がりとなっています。
名前の由来は、潟上の梨でつくったから「潟梨(カタナシ)」。
発想はとて安易なもの、しかも、語呂からは「形無」のネガティブイメージが強くなってしまいます。しかし、お酒の元となった梨は、味は良いのにカタチはバラバラ、「カタナシ」で個性的な子たちばかりです。その「あり方を変えようと活躍できる」、「本質あるカタナシ」が潟上の希望となる...そんなことを夢見ると、この作品にぴったりの名前なのでは...と、もうほかの名前が考えられなくなっていました。
そんな想いを込めて令和6年11月21日、弊社ワイナリーから、潟上産梨100%で仕上げた【潟梨ヌーヴォー※(製品名:カタナシワイン)】解禁となりました。
この時期になったら、「カタナシワイン」解禁日と認知頂けるように、皆様へ愛される製品となることを目指していきます。

秋田県男鹿市
男鹿総合体育館
連絡先：0185-23-3040
(男鹿市スポーツ協会)



おがそらHP
はこちら↑



キャンプ動画
はこちら↑



イングリッシュ
スクール動画
はこちら↑



Ogasora Camp & English School 2024

9月15、16日の2日間、おがそらキャンプ2024を開催しました。1日目はあいにくの雨模様でしたが2日目は青空が広がり、雨上がりの芝生でBBQや珍しいアクティビティなど、参加者はそれぞれ普段使えない場所でのキャンプを、思い思いに過ごされたようです。

同時開催の「Ogasora English School」では、国際教養大学の学生たちが先生として紹介され、英語と日本語が入り混じる中、自己紹介や歌、ダンス、ゲームなどを楽しみました。特に、最後の宝探しは大盛り上がりでした。英語が大好きな子どもたちも、英語が不安な子どもたちも、優しい先生たちのサポートを得ながら一緒に元気いっぱいの2日間を過ごしました。帰る頃には、先生も子どもたちもお友だちのように仲良くなっていました。「言葉だけではない交流の大切さ」を学べる機会となったのではないのでしょうか。



イングリッシュ
スクール

屋外サウナ

ピククルボール

ボードゲーム

モルック

スラックライン

青空ヨガ

仙台支店創設40周年

11月14日、弊社仙台支店創設40周年「感謝の夕べ」を開催しました。常務取締役兼仙台支店長・草彌大蔵の歓迎挨拶と祝電紹介、祝辞、日本造園建設業協会東北総支部長・古積昇様（古積造園土木株式会社代表取締役）より来賓挨拶をいただき乾杯、和やかな歓談へと移りました。歓談中「仙台支店40年のあゆみ」を映像で紹介、活動を振り返りました。仙台支店支店長代理の遠藤賢一が閉会の挨拶、弊社の「むつみワイナリー」のワインも記念品としてプレゼントしました。

佐々木創太社長の「今後も景観10年、風景100年、風土1000年を、ここ仙台の地でも実現すべく精進してまいります」という言葉は、仙台支店社員一同の心にも、深く根付いていくことでしょう。



▲仙台支店で記念写真



▲「仙台支店40年のあゆみ」を映像で紹介



日本造園建設業協会
東北総支部長 古積昇様 ▲



男鹿の桜

ひとあしおさきに
ほころぶ笑顔 春



▲男鹿市立男鹿南中学校にて



▲男鹿総合運動公園（駐車場北側）のライトアップされた夜桜（4月撮影）。

3月4日、男鹿市立男鹿南中学校と男鹿東中学校の二校に、サクラの花（枝）を届けました。この桜は、男鹿総合運動公園で採取したソメイヨシノで、温室で開花調整をして咲かせたもの。

男鹿市立男鹿南中学校では、弊社専務・佐々木がサクラの説明をし、開花管理をした弊社社樹木医・本間が、生徒さんたちと校長先生に贈呈しました。外は雪で真っ白でしたが、一足も二足も早く桜を愛でることができ、皆の笑顔がほころびました。

3月7日には、それぞれの中学校で卒業式が無事挙行され、式に花を添えることができました。

秋田県五城目町
環境と文化のむら
連絡先：018-852-2202
(自然ふれあいセンター)



環境と文化のむら 自然観察会 春の森で野鳥を探そう！



五城目町にある「環境と文化のむら」で4月14日、鳥類標識調査員等でご活躍中の足利直哉先生を講師に迎え、自然観察会・体験教室「春の森で野鳥を探そう！」を開催しました。

まず、双眼鏡の扱い方を確認してから、野鳥の声で鳥を見つけたり名前を判断したり、飛んでいる鳥を目で追いかけてながら双眼鏡をあてて姿を確認した

りました。その後、自然ふれあいセンターに戻り「鳥合わせ」をしたら、各自が見たり聞いたりした野鳥の数が合計13種類に及びました。

新緑の芽吹きを感じ、この時期ならではの森の新鮮な空気を吸いながら、野鳥を観察する、貴重で楽しい体験会となりました。



秋田県大潟村
秋田県農業研修センター生態系公園
連絡先：0185-45-2111
(R6年4月以降、施設の詳細に関しては直接、大潟村役場に問い合わせ願います)

すべては、創造の縁がつながってくれた 生態系公園よ、永遠に。



大潟村にある「生態系公園」で10月5日、弊社指定管理としては最後となる「カタマルシェ」が開催され、有機栽培の農産物販売や、環境に配慮し自然エネルギーを使った体験イベントなど、さまざまに工夫を凝らした出店があり、たくさんのお客様で賑わいました。

これまで、皆さまのご協力をいただき、盛り上げていただき、おかげさまで毎回大盛況でした。どうもありがとうございました。最後に、生態系公園一番の人気「トラクター馬車」に、子どもも大人も(スタッフも…)乗り、感慨深げに景色を眺めながら園内をひとまわり。常連さん同士、またの再会を願いながら下車したのでした。

秋田県北秋田市
秋田県立北秋の杜公園
連絡先：0186-78-3300
(北秋の杜公園パークセンター)



わんぱく広場に、新たな憩いの場 噴水広場ができました！

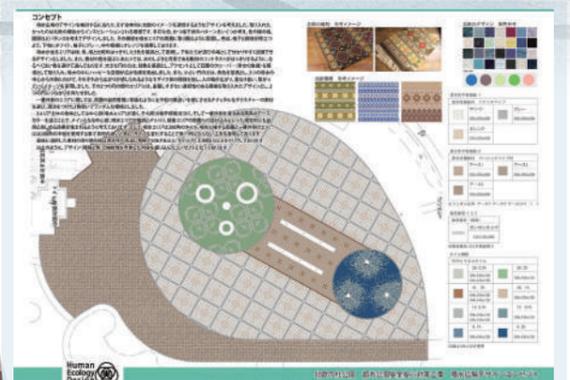
噴水は夏季シーズンの、土日祝日に運転します。平日利用を希望される団体様は事前にパークセンターまでご連絡ください。また、天候不順の場合は中止、または予告なく変更となる場合がございますのであらかじめご了承ください。



北秋田市にある「北秋の杜公園」のわんぱく広場に新たに噴水広場ができました！2024年6月14日噴水開きが執り行われ、岡部北秋田地域振興局長様、北林県会議長様、佐藤県会議員様よりご挨拶をいただき、テープカット。そして翌15日から、天気の良い土日を中心に10月14日まで稼働し、来場者に喜ばれました。



▲噴水開きテープカットの様子



▲コンセプトが入った図面と、舗装デザイン検討図。
▲タイルデザインは、弊社設計企画課で考案。公園来場者アンケートで、気に入ったデザインにシールを貼っていただき、最終的に数の多かったデザインに決定しました！

北秋の杜 歳時記

初夏には、公園を彩る黄色いお花「ヒペリカム」が一斉に咲き始めます。パークセンター前とレストラン北秋のテラス席プランターのお花もブルーサルビア、ペントス、ペゴニアなど青空に映える元気カラーで皆様をお迎えました。



来年から北秋の杜公園の噴水も、ご家族レジャーの夏の予定に入れてください。噴水もいいけどキャンプもね・・・！！



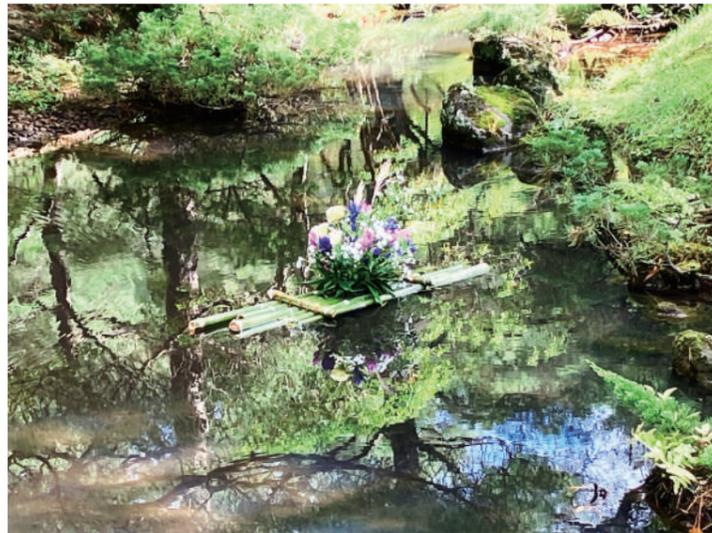
7月中旬、市内の保育園の子どもたちが噴水広場を訪れ、元気いっぱい水遊びを楽しみました。





花渡りIV

「花渡りIV」 教授者一同



「流水」 小野智月 板橋静月



「行雲」 上村周峯

行雲流水
(こううんりゅうすい)

「雲」は無心に風にのり
「水」は無相にして流れるように
ものごとにこだわらない
生き方をいけばなで表現



「風の詩」 小川慶月



三浦廣巳 三浦有美子



佐藤昌月



「大空」 小野峯月

祝 水心苑開園45周年

桜月流 いけばな展

～水心苑の秋にいけるIV～

10月5日、6日、秋田県立小泉瀧公園内にある日本庭園「水心苑」で、「桜月流いけばな展2024～水心苑の秋にいけるIV～」が開催されました。

日本庭園といけばなを融合させ、これまでとは趣の違った空間の創造を試みた催しで、2015年より開催され、今年で4回目のいけばな展です。今年の展示は30点（野外10点、室内20点）、約800名の来場者にお越しいただきました。

6日までの予定でしたが、好評のため、会期を2日延長し8日までの展示となりました。



「永遠に」 家元 上村周峯

水心苑開園45周年を祝い、庭園文化が永く続くことを願って



桜庭 登月

川口 美月

小野 峯月



ごあいさつ

本日はご多忙の折、桜月流いけばな展へお越しいただきまして誠にありがとうございます。ここ秋田県立小泉瀧公園日本庭園におきまして『水心苑の秋に生けるIV』と題し、室内の展示に加え野外への作品も制作し、3年ぶりに開催する運びとなりました。

「水心苑」は開園以来45年の年月を経て樹々ははいよいよ緑深く、苔むす石組が風情を醸し出し落ち着いたある庭園空間となっております。「日本庭園」と「いけばな」この二つは古くから伝わるわが国の文化であり、自然を尊び且つ精神性を重視し創られ受け継がれてきた共通点があります。日本庭園の水心苑を舞台に、いけばなを融合させこれまでとは少し趣の違った空間の創造を試みました。庭園を散策しながら、移り行く季節の風情をゆっくりとお楽しみいただきたいと思います。

(※開催当日のリーフレットより) 華道桜月流家元 上村周峯

●プロフィール/三代家元 上村周峯
幼少の頃より母、上村喜風(桜月流家元教務)のもといけばなに親しみ学ぶ。昭和61年より家元宇佐美桜月に師事、平成3年一級教授を拝命。秋田県華道連盟主催総合花展などに出品。平成25(2013)年2月、二代家元宇佐美松峯の逝去により、家元代行で従甥の上村周峯(周平)が三代家元を継承する。桜月流独自の花型を大切に創造力を高め自由で力強い、みちのくの自然から湧出する「鄙美」を求め精進。平成29(2017)年4月より秋田県華道連盟副会長を務める。令和2(2020)年秋田市文化団体連盟章を受章。



池田 麻月

菊地 悠月

菅原 桜賀

小野 由希

三浦 貴月

大門 桜恵

取材をしての感想

石橋の端に欄干のごとく架けられ、リンドウでまとめられた作品。異世界につながるもう一つの橋なのか？と、創造力が掻き立てられます。「花渡りIV」 青空を思わせる花器から、真っ直ぐ伸びるように生けられた花々は、晴天の下、青空に吸い込まれたいと願っているかのよう。「大空」 水面に浮かぶ竹筏に花を生けた作品。流れに映り込む花のゆらぎ、「行雲」とあわせ、禅的なイメージを感じる作品でした。水面に映りこんだ部分も、作品のひとつかも。「流水」 それぞれの教務の方や生徒さんの作品も、「水心苑」の日本庭園とのバランスを意識した作品で、とても見ごたえがありました。

秋田県秋田市
秋田県立小泉瀧公園
連絡先：018-873-5252
(小泉瀧公園管理事務所)



04 お子さんに観てもらおう 職場参観

「仕事と家庭の両立」を目的とした弊社独自の取り組み、お子さんのいる弊社社員を対象に「職場参観」が行われました。

11月30日朝、潟上本店にてスケジュール確認、会社や業務についての概要説明は社員各自でお子さんに説明し、お子さん同行でさっそくそれぞれの持ち場へ！（以下は、担当現場の一部です。）秋田本社、河辺災害復旧関連事業、秋田駅西口芝生広場、小泉潟公園、天王小学校・国花苑看板設置、秋田グリーンサムの杜・ワイナリー施設・PG場・サッカー場・キャンプ場・圃場、城南中学校…などなど。

その後、むつみガーデンのホールに移り、家族でクリスマスリースづくり、ワインテラスの囲炉裏でBBQ昼食となりました。

会社勤めですと、子どもが親の勤労している姿を見る機会はなかなかないものですが、常に子どもに恥じない仕事をする姿勢を持ち続けたいですね。また、今回のような機会を通じて、「親の背中」を見たことが、子ども達の記憶の深いところに残り、いつか彼らの成長の一助となってくれたら…と願うばかりです。



05 むつみガーデン芝の植付け & 出戸浜緑地化プロジェクト！



6月26日、むつみガーデンでの芝の植付けの様子



6月27日、出戸浜海水浴場での芝の植付けの様子

6月下旬、潟上本店（むつみガーデン）北側にある敷地（400㎡）と、出戸浜海水浴場の海の家並び（500㎡）2ヶ所に、芝の植付けを行いました。出戸浜の植付けには弊社社員のほか、橋本組様や出戸浜海水浴場組合のメンバーも協力してくださいました。来年6月グランドオープンするにあたり、ワイナリー見学やワインテラス来客用の駐車場、海の家利用者がのびのびくつろげるスペースとしての利用、芝を使ったミニイベントの開催など、様々な用途の可能性があります。芝で覆われた緑のスペースが、人々が心を通わせる場所として一役かってくれることでしょう。

また、砂地を「緑地化」することで、飛砂を防ぎ、芝の緑と海の青が相まって夕日もさらに美しい景観がつけられます。



10月1日、出戸浜の夕焼け



暑い中の作業、その後のメンテナンス、お疲れ様です！

01 豪雨災害による 岩見川河川災害復旧工事

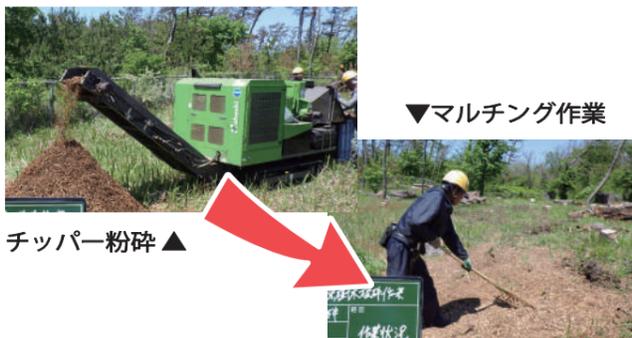


令和5年7月中旬の豪雨災害により、増水氾濫した岩見川護岸（秋田市河辺川原琴）の復旧工事を、約9ヶ月かけて行いました。これは、今後同様の豪雨災害が来ても氾濫しないよう護岸ブロック積みの施工、築堤盛土をする工事です。壊れた護岸を撤去し、新たに基礎から1段ずつ積み、掘ったところを埋め戻す…これを繰り返し、全長226mを完成させました。

03 松枯れ「チップ化」のススメ 対策に ～ 予防保全の計画的伐採 ～

近年の猛暑起因による松枯れ被害が秋田県内でも拡大しており、その処理に困っている方から相談を受けることも増えています。対策は「予防」と「駆除」。「予防」は、薬剤散布や幹への薬剤注入で、媒介者であるカミキリ虫を殺虫し、センチュウの侵入・増殖を防ぎます。「駆除」は、被害を受けた木を伐採し薬剤処理をして被害木内のカミキリ虫を殺し、翌年の被害拡散を防ぎます。

そして、伐採後の処理については、弊社で有している樹木粉砕機（チップパー）が活躍できます。チップパーは、木の枝や葉を細かく砕いてチップ状にするので、その場で庭の枝や葉を処理でき、ゴミ処理費用が削減できるほか、生成されたチップはマルチングとして敷くことで防草（雑草の抑制）をしたり、土壌の水分保持や温度調整にも効果的。資源の有効活用という視点からも様々な利活用が期待できます。



▼マルチング作業

チップパー粉砕▲

M塾 11/29 岩見川 河川災害復旧現場を見る・考える

11月29日、M塾の一環として河川災害復旧現場と農地災害復旧現場6か所を見学しました。弊社の「岩見川現場宿舎」の意義と目的、運営上の注意事項等を工事部の赤田部長から説明を受け、対策工法やスケジュール管理・使用資機材・作業場の課題、現場注意点などを話し合いました。復旧工事は地元の方々の安全や安心に直結しているため、地域貢献としても大切な業務です。今後も建設業に携わる企業としてインフラを整備し、地域の方々の生活基盤の安全安心をはかるため、むつみ造園として尽力して参ります。



02 本社改修工事 ～ 都会にこそ緑を～

秋田市中心部・山王にある秋田本社では6月5日、無機質な雰囲気のタイルを取り払い、芝を張る改修工事を行いました。緑を取り入れることで、相談に立ち寄られた方や遠くから足を運んでいただいた方に自然豊かな印象を持っていただければ何よりです。

造園業者として緑を管理できることに自負を持ち、お客様が気持ちよく過ごせるような環境づくりに取り組みます。



おしごと体験 夏休み キッズおしごと体験 ~美しい景観を維持管理する~

8月8日、秋田駅前芝生広場において、秋田市内の小学生を対象とした「夏休みキッズおしごと体験」を行いました。弊社企画部の佐藤とメンテナンス課の佐々木が、クイズ方式で「芝」についてQ&A方式で作成したフリップボードを元に、グリーンキーパーの立場から分かりやすく解説しました。フリップボードの問題は、「芝生に縞模様ができるのはなぜ?」や、「ケンタッキープールグラス(芝の品種名)は冬には枯れる?枯れない?」などです。美しい景観を維持する為に必要なこと、そこには管理している人間がいること、少しでも子どもたちの記憶に残りますように。



一問一答形式の回答フリップボードの一例▶



◀芝生の管理について子ども達に分かりやすく説明する佐藤

M塾 8/30 空間/建物の上質なVRの活用 ▶救急救命講習会

8月30日、潟上本店のホールでM塾を開催しました。今回のテーマは「VRとAED」。まず、スリー(株)の奥村佑之氏を講師に「空間/建物の上質なVRの活用」を学び、次に、男鹿消防署の署員による救急救命講習を受講しました。VRでは、撮影した画像をもとに、どんな測定やプレゼンができるかということを具体的にを見せていただき、今後の活動や施工事例にどのように取り入れていけるかを考える貴重な体験になりました。その後の救急救命講習では、AEDの使い方を中心に、胸骨圧迫や回復体位、気道異物の除去などについて、デモンストレーションや実習を通して学びました。病気がやがて倒れている人がいた場合は、勇気をもってかつ冷静に救助活動にあたること、救急車が到着するまでの時間がいかに重要であることを学びました。AEDを設置した各施設では、各自躊躇することなくAEDを操作できるよう心がけができたと思います。



◀VRの活用方法を皆で考える貴重な機会となりました



人命救助は迅速な行動、勇気を持って取り組む姿勢が大事。助かる命があることを忘れないで。

救急救命の実技講習の様子。現場職員も真剣です!

祝♥結婚 牧野竜大君・鈴香さん



笑いのたえない、豊かな家庭を築いていきます! 娘はめっちゃ可愛いよ♥

潟上本店・設計企画課の牧野竜大君の結婚式が2月10日、秋田市の「センティール・ラ・セゾン」にて盛大に行われました。新居の外構は牧野君が自ら設計した、こだわりのスペースだそうです...ここでは図面のみ紹介。(図面を見ただけで、どういうお庭か想像つきますか?) 滞っている重たい世情も吹っ飛びそうな、めでたいニュースでした!

有田来夢さん・正明さん

秋田本社・総務部の有田来夢さんの結婚式が11月23日、秋田市の「秋田キャッスルホテル」にて盛大に行われました。ご本人曰く、「花屋(正明さん)と造園屋なので、生花にこだわりました。チャペルは、本来は造花がセッティングされていますが、生花に変更し、髪飾りも生花にしてもらいました」とのことです。ドレスも、お花も、素敵な色合いですね!



M塾 8/1 安全管理について考える ~事故のない安全な現場管理・施工~

8月1日は、「安全管理について考える~事故のない安全な現場管理・施工~」というテーマで、現場事故の経験者や、大手ゼネコンでの現場管理の実績が40年以上もある方が講師となり、研修を行いました。まず、安全管理の基本と、これまでの事故や怪我の実態(全国~秋田県内~わが社)の講義を受け、経験者が事故の実例などを説明、その後、事故のない安全な現場管理のために最低限知らなければならないこと・守らなければならないこと等について講義を受けました。質疑応答や感想からは、「安全対策に関する知識や備品の用意だけでは不十分で、やはり一人一人とのコミュニケーションも大事だ」との気付きが今回の大きな収穫だったようです。現場での実践を、先輩たちは楽しみにしていることでしょう。



経験者である先輩から、現場管理に必要な事を学びました

職場体験 職場体験受け入れ

例年どおり中・高校生のインターンシップ職場体験受け入れを、下記のとおり行いました。7/29~30 金足農業高校、10/8・9 秋田東中学校、10/24~27 天王南中学校(潟上市のキャリア・スタート・ウィーク)、11/14 桜中学校。9/3~5は、秋田工業高校2年生の生徒が弊社潟上本店で会社説明を受け、実際に工事現場や指定管理施設を見学したり、重機の操縦を模擬体験しました。土木工事に関わる様々な業務や現在の様子映えだけではない、将来を見据えた設計・施工があることなど、視野が広がったのではないのでしょうか。生徒たちからは「建設現場で働くことの意義や職場について参考になることが多かった」「これまで自分が知ることがなかった植物の管理に興味を持った」などの感想をいただきました。この貴重な体験を将来に活かしていただければ幸いです。

実技指導 若年者への技術指導派遣

6月17日から4回にわたり、秋田市の金足農業高校で生徒たちが、秋田職業能力開発推進センターの「技能検定課題等を活用した実技指導(造園技能士)」を受講しました。「ものづくりマイスター制度」の一環で、弊社庭苑課長の船木と小泉潟公園管理事務所所長の泉田が、センターの依頼で講師として派遣されました。造園技能士2、3級を受験希望の2、3年生が受講し、竹垣製作、縁石敷設及び敷石敷設などに取り組み、手順を習ったり、質問したりしました。

ビオトープ ハチロウトープが環境省より認定 ~環境学習としての活用が評価され自然共生サイトに~

企業や民間団体等の適切な管理で生態系が守られ、希少な動植物が生息するなどの「自然共生サイト」に商業施設「フレスポ御所野」(※大和リース秋田支店様運営)内に設置されたビオトープ「ハチロウトープ」が、この度環境省から認定を受けました。この制度は2023年度から始まり、秋田県内では初めての認定となりました。むつみ造園は2022年に設計・施工で携わらせていただきました。

現在は周辺小学校の環境学習の場になっているとのこと。環境省では生物多様性の保全のため、2023年までに国土の30%以上を自然環境エリアとして保全することを目標としています。生物多様性に関わっていると思うと、小さなビオトープ空間ですが無限の可能性を感じますね。



▲むつみ造園のプロポーザル動画はこちら

「ハチロウトープ」の設計図面▶

施工の様子



完成した「ハチロウトープ」



ものづくりマイスター制度とは...高度な技能を持ち、厚生労働省より認定された「ものづくりマイスター」が、中小企業や教育訓練機関で広く若年技能者への実技指導を行い、効果的な技能の継承や後継者の育成を行います。

▲金足農業高校の生徒は、竹垣製作や縁石敷設、敷石敷設等に取り組みました

秋田工業高校土木科の2年生は重機操縦の模擬体験をしました▶





6/7
研修会



The spirit of creation 創造の真髓を希求する
秋田で活かす。創造の仕事。



未来を担う むつみの仲間たち

千葉県の北東部に位置する東庄町という小さな町で生まれ育ちました。大学入学を機に秋田へ移住してから今年で5年目になりますが、まだわからないことだらけで日々知らない場所や言葉、文化を目の当たりにしています。秋田に移住することを決めた理由は自然環境の豊かさにあります。私は田畑や森林が身近にある環境で育ち、森に探検に行ったりザリガニ釣りに行ったりと自然に触れる機会が多い幼少期を過ごしました。そういった幼い頃の経験が、秋田の自然を魅力的に感じるきっかけになったのだと思います。広大な田園風景やそれを見下ろすようにそびえ立つ山々。どの季節も違う色を見せてくれる秋田の自然の力強さに畏怖さえ感じましたが、同時に感動を覚え、4年間という短い時間の中で知ることのできなかつた秋田の魅力がこれからも見つけていきたいと思っています。

松根 愛美
Matsune Manami
指定管理・メンテナンス課



現在は男鹿に位置する秋田石油備蓄株式会社で基地構内の緑地管理に先輩と共に携わらせていただいています。構内には芝生とクロマツが植栽されており、それらの刈込や剪定、病害虫防除のための薬剤散布などを年間を通して行っています。現場管理を行う立場のため、日報や工程表などの書類提

金足農業高等学校造園緑地科を卒業後、東京農業大学造園科学科の学士課程を経て東京の造園会社に入社しました。民間仕事は主にゼネコンの下請負で、マンション・介護老人ホーム・商業ビル・都営住宅等の外構工事をしていました。公共工事では主に、杉並区の街路樹剪定・公園の樹木の剪定・公園・緑地の改修等を受注していました。入社直後からすぐに外構工事の現場担当になり、思い描いていた造園とは違う仕事をしていくことになりました。物作りが好きでしたので、仕事に慣れて行くにつれて外構工事にやりがいや楽しさを見出すようになり、外構工事も悪くないと感じていきました。そこでもしか得られない貴重な経験も積めたと思います。特に、混雑とした現場を工期内に丸く納める能力・様々なタイプの人との円滑なコミュニケーション能力は、かなり上達しました。また精神的に頑丈になったとも思います。とんでもないミスをして先輩に叱責されたり、所員や他業者を怒鳴つてしまったり、年末の深夜まで作業して通報されたり...今となつてはいい思い出です。工期も短く現場も所長も設計も他業者も予算も煩雑な現場で忙殺される日々の中、いつか地元秋田に帰りたいと考えていましたが、具体的な展望もなく気が付いたら10年の月日が経っていました。そんな中、諸般の事情が重なり自

木元 暁
Kimoto Akira
庭苑課



分の中で転換期と思えるタイミングがあり、2024年3月に東京の会社を退社、同年4月にむつみ造園土木に入社しました。10年間造園業に携わって来ましたが、触ってきたのはコンクリート・ブロック・アスファルトばかりで、剪定や庭工事等は素人同然です。庭苑課での業務は個人邸の剪定作業が主ですので、慣れない仕事に四苦八苦しなから毎日過ごしています。と同時に10年前に造園業と聞いて想像していた仕事によく似た感じだったので、苦労以上の楽しさがあります。11月現在は、大仙市の個人邸庭改修工事に携わっています。メインの工種は久栗坂石の小端積みで、先輩に教わりながら一緒にコツコツと積み上げていきます。作業が進むにつれ形のいい石が減り加工が増えていくのですが、思った通りに割るのが難しく、先輩からも時折「あつ」や「さい」という声が聞こえてくるくらいです。

今後の目標は、もっと造園・庭苑の技術を身につけて、各種資格を取得していくことです。とは言え、直ぐに身に付くものではないと思うので、唯々学ぶだけでなく、10年間で学んできた分野においては存分に力を発揮していくつもりです。むつみ「造園土木」なので、土木工事も造園工事も庭仕事も出来るよう、胸を張って「自分は造園屋です」と言えるよう精進していきます。